

魚類のダイオキシン類調査結果について

1 趣旨

不法投棄現場下流の杉倉川、熊原川は、県内外から遊漁者が訪れる場所であることから、そこに生息する魚類の食品としての安全性を確認するため、現場下流で採捕したイワナのダイオキシン類調査を実施しました。

2 調査結果

表1には今年度の調査結果を示しています。なお、試料については、平成19年5月中旬から8月下旬に田子町内の熊原川で採捕したイワナ12匹の可食部（筋肉部）のみを分析に供しました。

表2には、これまで国が全国で実施し公表したイワナの調査結果、表3には、平成16年度に県が実施したイワナの調査結果を示しています。

今回のイワナの調査結果は0.72 pg-TEQ/g-wetであり既存調査結果の範囲内でした。

表1 イワナのダイオキシン類調査結果

採捕地点	濃度 (pg-TEQ/g-wet)	備 考
熊原川	0.72	採捕時期：平成19年5月中旬～8月下旬

表2 公表されている国が実施したイワナのダイオキシン類調査結果

年度	地域	濃度 (pg-TEQ/g-wet)
H11	関東地方	0.080～5.3
H11	中部地方	0.19～3.3
H16	東北地方	0.23
H17	中部地方	0.12

表3 青森県が実施したイワナのダイオキシン類調査結果

年度	採捕地点	濃度 (pg-TEQ/g-wet)
H16	熊原川	0.28

参考 青森県が実施した魚類のダイオキシン類調査結果

年度	採捕地点	種類	濃度 (pg-TEQ/g-wet)
H17	熊原川	ヤマメ	2.5
H18	熊原川	ウグイ	0.62